

極真空手田畑道場十年大計たる第2弾

「黒沼誠の四段位について」

2021年6月

皆様ご存じのように黒沼誠は、昨年7月29日に悪性リンパ腫と診断され、約9カ月間抗がん剤治療をし、今年4月に医師より寛解との見解に至りました。

その闘病の姿やリハビリを間近で見っていた私は、病名を言い渡された時の心境やご家族の想い、抗がん剤治療による体力の衰退や抜け毛、出ない声を振り絞るリハビリなど、、、病に打ち克った黒沼のその心、その魂に報いるべき、満を持して本部師範代に黒沼誠を任命いたしました。

黒沼は事務局にいるが故、師範代は何をすべきかは十分に理解をしています。あとは実践・行動に移し、極真カラテの神髄を極め、田畑道場の発展に貢献することが出来ることを信じています。

ただ医師によると5年以内に再発があるかもしれないということに一抹の不安が残ります。黒沼の体重は85kgから減少し続け、現在74kgに落ちました。

このような状況下に置かれて、黒沼誠の力強く生きる目的、この世での自分の使命の確認、本気の魂の力の発露、天寿を全うする励みになればと5月24日のオンライン理事会に議題として「黒沼誠の名誉四段取得について」を提案しました。

理事会では、名誉段ではなく、無審査での正四段が満場一致で認証されました。

理由としては、田畑理事長のもとで約20年にわたり一般社団法人極真会館の事務局に携わり、田畑道場はもとより連合会にも尽力をしてきた功績が多岐にあることを理事全員が認めてくれました。また全日本シニア三連覇（2018年～2020年）も評価に値しました。

私が32カ国69回の海外セミナーに行き、極真カラテの神髄を伝え、連合会に数多くの方々が正会員に加盟してくれたのも、道場を守る黒沼の力も過分にあります。

最後に理事会から、いずれ黒沼は師範となり田畑道場、一般社団法人極真会館の中核を担う人物になるようにとの期待のこもった発言がありました。

2021年5月24日付けで黒沼誠の正四段が満場一致で認証されました。

黒沼誠はこれで本部道場師範代、正四段位として権威と権力を持つ立場となりました。大事難事または逆境に対しては率先垂範してこの権威と権力を発動しなくてはならない時があります。やるべき時は筋を正して使命感を持ち、自分の責任においてやり抜き、他の者の範にならなくてはなりません。自分の立場を守るようであってはいけません。

「大事難事に担当を看る」という言葉があります。どれほど仕事を背負い結果を出す事ができるかという意味です。何事に対しても無関心、事なかれ主義であってはいけません。

諸師範代、諸支部長・副支部長、道場生が丸となれるような人徳とリーダーシップが不可欠です。自分自身を磨いていくしか方法はありません。

皆様からの叱咤激励により黒沼誠は皆と和合寛容し、また自省謙虚にして田畑道場をまとめることが出来るはずです。